（明治40年11月29日第三種郵便物認可）

（土・日曜、祝日除く）日刊

きょうの紙面
2 泊発電所若手、火力で実習
3 ガス自由化、当面は局地戦
4 ごみ発電施設にＡＩ導入へ
5 変電所のテロ想定した訓練
9 大型変圧器撤去で若手研修
≪特集≫ 7 関西電力　設計業務　安定供給への礎築く
8 九州電力　大分支社　激変する事業環境に即応

電氣新聞

2017年(平成29年)
2/7（火）
第28231号
©日本電気協会2017

ENERGY & ELECTRICITY
The Denki Shimbun

一般社団法人 日本電気協会新聞部 〒100－0006 東京都千代田区有楽町1－7－1
☎03(3211)1551/編集 03(3211)1558/総務 03(3211)1555/出版・セミナー 03(3211)1550/購読・広告
総局 西部 大阪市北区中之島3－6－16 ☎06(6444)4301 中部 名古屋市中区栄2－2－5 052(202)0550
支局 北海道(札幌)☎011(231)5838 東北(仙台) 022(225)2675 北陸(富山) 076(432)0258 中国(広島) 082(241)2100 四国(高松) 087(822)1253 九州(福岡) 092(741)8821

「無制限・無補償」を適用

再エネ出力制御

リプレースした FIT電源 風力が主な対象

経済産業省・資源エネルギー庁は、リプレースしたFIT（再生可能エネルギー固定価格買取制度）電源の出力を抑える（出力制御）場合の方針を決めた。無補償の出力制御に上限を定めているエリアで、電力系統への接続申し込みがさらに増え、無制限・無補償で出力制御を行えるルールに変わった後は、そのエリアでリプレースしたFIT電源にも無制限ルールが適用される。リプレース前のFIT電源と出力制御の条件を同じにする。

2017年度から、風力発電と地熱発電にリプレース用FIT買い取り価格が設定されることに伴う方針。他のFIT電源との公平性を担保する目的で、気象次第で出力が変わる風力が主に該当しそうだ。地熱より導入量が多く、リプレース案件の増加が見込まれる。地熱より出力制御の順番も早い。

風力では北海道エリアが無制限・無補償の出力制御ルールに移行していたが、東北エリアでも3日以降、新規の系統接続を希望する発電事業者に同ルールを適用することになった。

太陽光発電や風力の発電量が伸び、火力発電の出力抑制や揚水発電の活用などを行っても電力の供給量が需要量を上回りそうな場合に、太陽光や風力の出力を抑える行為を出力制御という。太陽光の接続申込量が急激に増えたため、出力制御ルールは15年に改定された。

具体的には発電事業者に補償をしない出力制御の上限について、新規に接続を申し込んだ事業者には、これまでの「年間30日」ではなく「年間360時間（太陽光）」や「年間720時間（風力）」を適用することにした。時間単位のきめ細かい制御を行い、系統接続量を増やすことが狙い。制御する発電所の出力範囲も広がった。

それでも一定の接続申込量を超えた場合、新規の接続希望者には出力制御を無制限・無補償で行える「指定ルール」を適用する。適用可能な電力会社は東京、中部、関西を除く7社。太陽光では既に北海道、東北、北陸、四国、九州の5社が同ルールに移行した。

エネ庁は今後、風力などをリプレースしたときに立地エリアが上限ルールから指定ルールに変わっていた場合は、指定ルールを適用する方針。

福島の実情 客観識者5人

本紙・牧之原フォーラム

電気新聞・これからのエネルギー委員会が主催する牧之原フォーラム「どうする？ 日本のエネルギー 福島の実情を学び・考える」が4日、静岡県牧之原市で開かれた。集まった260人の聴講者を前に、同委員会の委員ら5人の有識者が客観的データや事実を踏まえた上で、福島県の現状について、1年前の0・01マイクロシーベルト方式の線量計測値を示すなど、リードを広げた。

和田博明部長（東京電力ホールディングス福島復興本部総務・広報）は「（前回優勝）間となったが、手やコーチに勝ち取った勝」と周囲に表決定戦に向ジャーという」（松村選手）ていた。

表彰式で優勝カップと金メダルを掲げる中部電力カーリング部（左から松村選手、清水絵美選手、北澤育恵選手、石郷岡葉純選手、中嶋星奈選手＝5日、長野県軽井沢町）

五輪の望みつなぐ

日本選手権V

中部電力カーリング部

中部電力カーリング部が5日、長野県軽井沢町で行われた日本選手権女子決勝でLS北見を7対5で破り、3年ぶり5度目の優勝を果たした。日本選手権出場を逃した昨年から一気の返り咲きとなった。スキップの松村千秋選手は、「全員がカーリングを楽しんで、全員で勝ちにいったのが勝因」と喜びをかみしめた。今後、日本が平昌オリンピックへの出場枠を獲得した場合、9月にLS北見との五輪出場をかけた代表決定戦に臨むことになる。

2年ぶりの出場となった今回の日本選手権。中部電力は、7勝1敗の2位で決勝トーナメントに進出。変則方式のトーナメント初戦でLS北見に敗れたものの、準決勝でソチオリンピック代表の北海道銀行を破り、決勝に勝ち上がった。迎えた決勝では第6エンドに不利な先攻で2点を獲得。第9エンドに訪れたピンチを松村選手の一投で相手の2つの石（ストーン）を押し出し、1失点に抑えるなど、リードを広げた。

電力市場はいま

電力・ガス監視委の競争評価から〈1〉

過去上回る速さで拡大

小売市場の新電力シェア

電力・ガス取引監視等委員会は小売り全面自由化がスタートした電力市場全体の競争状況について、様々なデータ収集やアンケート調査などを基に評価する作業を進めている。評価は①市場構造②市場動向③事業者行動④需要家行動――に大きく分かれており、2016年度から毎年実施していく方針。経過措置料金規制の撤廃を行う際に、この評価は主要な判断材料となるとみられる。今回は電力・ガス監視委の制度設計専門会合（1月26日）で示された評価案を紹介する。次回以降の会合でさらに内容が議論されるが、同案から大きく変更されることはないとみられる。

小売市場は全面自由化を受け、16年9月時点で総需要に占める新電力の市場シェアが約8％に達している。旧一般電気事業者のエリア別にみると、東日本大震災後に2度の値上げを余儀なくされた北海道、関西の2社と、需要密度が全国で最も高い東京電力の3エリアで10％を超える一方、北陸電力では0・5％にも届いていない。

会合ではこの点について、委員から「単に新電力のシェアだけで競争がある・ないは言えない」との意見が複数上がった。北陸電力は料金水準が低いことに加え、需要密度が低いために新電力にとって「うまみ」が少ないことから、参入が進んでいないとみられる。

規模のメリット

電力・ガス監視委の分析によると、特別高圧と低圧分野では料金水準が高いエリアで新電力のシェアが高い。ただ、シェアは全体的に料金水準よりも需要規模、いわゆる市場の大きさに影響を大きく受けることも分かった。電力・ガス監視委は「大都市圏ではスケールメリットが大きい。すでに営業基盤を持っている事業者の参入が多くなった結果ではないか」と指摘している。

過去の自由化時と比べると、特別高圧と高圧分野で新電力のシェアが2％を超えたのは開始から5年が経過した時点。これに対し、低圧分野ではすでに2・5％を超えており、過去の自由化を大きく上回るペースで新規参入が進んでいる。

電力・ガス監視委は電力間競争について、「互いに競い合うことが市場活性化への効果が大きい」と強調。その上で、経過措置料金の撤廃を判断する際、「（電力間競争の進展度合いが）ポイントの一つになる」と指摘している。

サービス改善へ

一方、旧一般電気事業者同士の競争は進んでいない。市場の寡占度合いを測定する「ハーフィンダール・ハーシュマン指数（HHI）」で比較すると、他国の指数と比べても相対的に、旧一般電気事業者の方が高くなっている。

一般送配電事業者の中立性については電力・ガス監視委の監視では差別的な取り扱いに該当する事例はこれまで確認されていない。関西電力の野田正信執行役員・電力流通事業本部副事業本部長は「各社の取り組みの成果。この状態が継続するように努力していきたい」と意欲をみせた。

ただ、電力・ガス監視委が小売電気事業者に対して行ったアンケート調査では、公平な取り扱いについて一般電気事業者に悪い印象を持っている回答が一定の割合であった。電力・ガス監視委は「ネットワーク部門は、真